女性がんヘルスケア外来

「がんサバイバー」とは、がんと診断された方、治療中または、がん治療を終えた方をさす最近の言葉です。医療技術の進歩により、がんは「不治の病」ではなくなり、生存率が向上し、長期生存することも可能な時代になりました。

がん治療である手術、抗がん剤、放射線治療によって、特に閉経前の女性では、卵巣機能が低下し、分泌される女性ホルモン（エストロゲン）が減少する場合があります。エストロゲンは、女性らしさを作る働きだけでなく、皮膚、骨、脳、自律神経の働きにも深く関係しています。エストロゲンの欠乏状態が続くと、次のような症状が起きやすくなります。

更年期障害	•顔のほてり、のぼせ、異常発汗、めまい
精神神経症状	•うつ、不安、不眠、認知機能の低下
泌尿生殖器症状	•膣炎、かゆみ、尿もれ、性機能障害
心血管系疾患	•脂質異常、動脈硬化、高血圧、脳卒中、虚血性心疾患
骨量低下・骨粗鬆症	•腰痛、脊椎変形、大腿骨骨折

自然閉経した女性に比べ、がん治療により長期間の無月経、または閉経を早く迎えた女性は、上記リスクが高くなることがわかっています。中でも「骨折」「脳卒中」「認知症」は、寝たきりになるきっかけの三大要因として大きな問題となっています。

がん治療を乗り越えた後も、その後の人生を豊かに過ごすために、将来につなげる健康管理が重要です。

「女性がんヘルスケア外来」は、女性の QOL（生活の質）の向上と予防医学の視点に立った専門外来です。専門の産婦人科医（女性）が、卵巣欠落症状（更年期様症状）の対策、乳がんのタモキシフェン服用中の子宮体がん検査、骨密度検査などを中心に、原疾患に考慮しながら、可能な治療とサポートを行います。

- ✓ 抗がん剤治療によって月経が止まった、または不規則になった
- ✓ 乳がんの内分泌療法で、月経を止める、あるいは閉経を早める治療を受けた
- ✓ 婦人科手術によって卵巣を摘出し、月経がなくなった
- ✓ がん治療に伴う婦人科的なご相談など

毎週水曜日 14 時～ 中濃厚生病院 産婦人科外来（予約制）

受診予約について

- ◆ 中濃厚生病院 1F 産婦人科外来に直接、またはお電話で受付しています。
  電話 0575-22-2211（代表）平日 14 時～16 時
- ◆ かかりつけ医の紹介状は必須ではありません。その場合は、初診時選定療養費（￥7,700）がかかりますので、あらかじめご了承ください。
- ◆ かかりつけ医からの地域連携予約も可能です。紹介状をお持ちください。
- ◆ これまでの病歴がわかるものやお薬手帳をお持ちいただけると、診療がスムーズです。